

# 平成29年度 狭山市立山王小学校自己評価・学校関係者評価表

<p><b>評価欄のA～Dについて</b></p> <p>評価ポイント×人数=総数</p> <p>A：評価ポイント 3.5 以上</p> <p>B：評価ポイント 3.5 未満 2.7 以上</p> <p>C：評価ポイント 2.7 未満 2.3 以上</p> <p>D：評価ポイント 2.3 未満</p>	<p><b>評価方法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各評価者が a～d をつける。</li> <li>2 項目ごとに評価ポイントを合計し、評価人数で割る</li> <li>3 各項目のポイントをもとにA～Dの評価を決める。</li> </ol>	<p>a：9割以上達成されている・・・4点</p> <p>b：9割未満7割以上達成されている・・・3点</p> <p>c：7割未満5割以上の達成状況である・・・2点</p> <p>d：5割未満の達成状況である・・・1点</p>
---	--	---

評価項目	No	質問項目	自己評価 上段 昨年 下段 本年		学校関係者評価 (学校評議員による評価)	
			評価	自己評価の主な意見	評価	学校関係者の説明等
組織運営・教育課程・教職員	1	学校は、学校教育目標を学年・学級経営に具体化し、計画・実施・評価・行動のサイクルのもと、教育活動の展開をしている。	昨年 3.5 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年を重ねるごとに着実に積み重なってきている。</li> <li>・校長の示した学校教育目標を各学年の実態に応じて指導していると思う。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の協力が良くできているので、方向、考え方、目標が一致しているのだと思います。</li> <li>・毎年先生がたくさん変わるので上手に展開していく必要があるかと思っています。</li> </ul>
			本年 3.5 A		本年 A	
	2	学校は、日課表、週行事、学校行事等を適切に行うとともに、授業時数確保に努めている。	昨年 3.6 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄がなく、時間的にも気持ち的にもゆとりをもって計画・実施されていると思う。</li> <li>この、ゆとりのある教育課程が継続していくことを望む。</li> <li>・外遊びから帰ってくる放送が流れないことがあるので、朝の予鈴を業間休みや、昼休みに移すと良いと思う。</li> <li>・授業参観は1・4年 2・5年 3・6年の組み合わせだと兄弟で日にちがかぶってしまい参観できないことが多いと思う。低中高などに分けた方がより参観できると思う。</li> <li>・わくわく昼休みの次の日の朝は、朝清掃を徹底する必要がある。或いは、見落とさないように、職員会議等で必ず確認をする。</li> <li>・市内音楽会、社会科見学等11月下旬の午後に行事が計画されていると下校が遅くなり、暗くなるのも早いのでとても心配になります。日にちは検討したい。</li> <li>・年間、月間、週間の計画、日報ときめ細やかに周知され助かっている。各行事も学年の練習時間を計画的にとり、教科の学習とのバランスがとれていたと思う。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時数だけでなく各時間の質も良く努めていると考えられます。指導要領の変わり目は混乱しますが、本校では不易の部分を見据え自信をもって教育活動を行っています。</li> </ul>
			本年 3.7 A		本年 A	
3	学校は、「美化活動・言語・掲示教育・安全指導・遊具点検」などを通して児童の豊かな環境作りに取り組んでいる。	昨年 3.6 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日付が古い掲示物が見受けられる時がたまにあるが、おおむねよく管理されている。</li> <li>・いつも教務の先生方を中心に、きれいな花壇づくりや掲示物の貼り付けなどして下さり、ありがとうございます。花壇のお花がいつもきれいです。</li> <li>・安全点検をもっと徹底すべき。</li> <li>・子供たちへの声かけ、指導はしているが、登下校時のトラブルが多い。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな環境は、大人と子供で作ったものがそうなります。外部からのポスターは情報としてまとめ、児童作品が校内環境を良くしてくれています。季節も作ってくれています。校内を回るだけでも楽しくなりました。</li> </ul>	
		本年 3.4 B		本年 B		
4	教職員は互いに連携と協力に努め、共通理解・共通行動をするとともに各々が主体性をもって行動している。	昨年 3.5 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な状況において、校長、教頭をはじめ、教務部の先生方の迅速な対応に感謝してる。</li> <li>・朝のライン引きを業務時間内にできるように、また職員全員で分担できるようになるとよい。</li> <li>・各部会の人事配置を再検討が必要ではないか。二人しかいない部会も多々あり、仕事量の均等や出張が重なってしまったときにも対応できるので、要検討</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつての大規模校もどんどん適正⇒小規模に向かっています。分掌も感覚的に一人がいくつもならざるを得ませんが、そんな中で各担当は職務をしっかりとやってくれていると思います。(小規模校の工夫などを参考にする研修も必要でしょうか)</li> <li>・学校全体という考え方が重要です。そういう意見が出ているのは良いことだと思います。</li> </ul>	
				本年		

組織運営・教育課程・教職員		<b>本年</b> <b>3.8</b> <b>A</b>	していただきたい。 ・共通理解のために、全体での確認機会をしっかりとっている。 ・全教職員で共通理解をもち、取り組んでいると思う。 ・学年・ブロックの枠を越えて、学校全体で協力体制がある。	<b>A</b>		
	5	教職員は、課題研修、現職研修に積極的に取り組み、学校課題の解決と指導力の向上を図っている。	<b>昨年</b> <b>3.6</b> <b>A</b>	・素晴らしい体育の授業研究会だった。 ・体育の研究にもとても熱心に取り組み、環境等の改善にも積極的に取り組んでいた。	<b>昨年</b> <b>A</b>	・次に何をどうするかが重要です。研究はレベルを上げていってほしいです。一人一人が研究者の意識を持ってやって行ってください。指導要領が変わります。
		<b>本年</b> <b>3.7</b> <b>A</b>	・公開研に向けて体育主任を中心に研修ができたと思う。 ・今年度の校内課題研修では、学年の枠を越えて取り組み、ブロック間でも連携をとり、取り組むことができた。	<b>本年</b> <b>A</b>		
6	学校は、教職員にとって働きがいのある職場になっている。	<b>昨年</b> <b>3.5</b> <b>A</b>	・出張も減り、学級児童に関わる時間が増え、とても嬉しい。 ・欲を言えば、出授業があと1時間あるか、算数の少人数指導ができる人員が欲しい。	<b>昨年</b> <b>A</b>	・常に課題意識をもって、「良かった良かった」で終わってはそこまですべてになってしまいます。こういう所を書かなくても改善は常時行う意識をもっている職員がいると思います。	
	<b>本年</b> <b>3.7</b> <b>A</b>	・管理職の先生方がとても親切なので、困ったことがあったときに、すぐ相談しやすい。 ・日ごろから働きやすいように配慮して頂いているが、ノー残業ディが多いと仕事ができなくて、苦しくなってしまうことがある。 ・一部の教職員に負担がかかっているように見受けられる。 ・教職員全体の協力体制がとても良く、職場の雰囲気もとても良い。ただ、多忙感が残る。 ・皆さんに助けていただいていると感る。 ・朝も放課後も職員室にいる先生方が多く、どのようなことにも全体で解決・行動しようとする姿勢が見られる。	<b>本年</b> <b>A</b>			

確かな学力の育成	7	教職員は、児童一人一人の実態を踏まえ授業の工夫改善に努め、基礎的・基本的内容の定着を図っている。	<b>昨年</b> <b>3.4</b> <b>B</b>	・確実に定着させられるように進めているが、見切れない部分も出ている。特に、特別支援的な配慮を要する児童や家庭の協力が得にくい児童への細やかな対応ができないのがもどかしい。 ・保護者と確認しながら、個々の学習内容を決め、取り組んでいる。	<b>昨年</b> <b>B</b>	・配慮を要する児童に関しては、校長をはじめ諸先生が家庭との連携を図り、個別に対応できる形に進めて行っていると思います。お互いの工夫がもっと見られるように、伝え合えるようになると良いです。
		<b>本年</b> <b>3.2</b> <b>B</b>	・個別に配慮を要する児童の指導についてさらに保護者と連携しながら進めていく必要があると感じる。	<b>本年</b> <b>B</b>		
	8	教職員は、児童の実態に応じた指導法改善に努め、児童一人一人の学力を伸ばしている。	<b>昨年</b> <b>3.3</b> <b>B</b>	・おおむね達成されていると思う。 ・ひとりひとりの実態の把握に努め、指導方法を話し合う姿がみられるが、実際に学力の伸びが目に見えて感じられないのが残念。	<b>昨年</b> <b>B</b>	・自己評価の厳しい方が信頼が厚いですね。常に7の指導法の工夫改善です。 ・学力に応じたクラス別授業のようなものもあっても良いと思います。(子供や保護者には伝えないかもしれませんが)
	<b>本年</b> <b>3.0</b> <b>B</b>		<b>本年</b> <b>B</b>			
9	教職員は、「めあて」・「まとめ」等のカードを使い、目標を明確にし、「児童の言葉」でまとめをする授業を行っている。	<b>昨年</b> <b>3.1</b> <b>B</b>	・おおむね達成されていると思う。 ・まとめが、クラス一斉にまとめている。徐々に、児童の言葉でまとめさせていきたい。 ・めあてとまとめは意識していると思います。	<b>昨年</b> <b>B</b>	・これからは、表現力がもとめられる時代なので児童の言葉でまとめさせるのは良いことだと思います。	
	<b>本年</b> <b>3.0</b> <b>B</b>	・カードは、どの教科でも使用しているが、「児童の言葉」でのまとめに関してはできている授業とできていない授業がある。	<b>本年</b> <b>B</b>			

10	児童は家庭での学習が習慣化し、自分から進んで学習しようとしている。	昨年 2.9 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での学習の習慣化は、学校だけでなく家庭の力によるところが大きいので、100%達成は難しい。</li> <li>自級児童も、確実にやってくる子とそうでない子がはっきり分かれてきた。</li> <li>家庭と連携し、継続した声掛けが必要である。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習支援の日の設定してはどうか。</li> <li>保護者同士の意見交換の場を作り家庭も巻き込む工夫が必要だと思う。</li> </ul>
		本年 2.7 B		本年 B	

豊かな人間性の育成	11	児童は、明るいあいさつや返事ができ、やさしい言葉が使えている。「くん・さん」の徹底ができています	3.1 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや返事ができる児童が少ない。</li> <li>廊下であいさつしても返事が返ってくるのが50%程度。</li> <li>「くん・さん」を使っている児童があまり多くないので、継続して指導している。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>去年はSSWでも、良くあいさつをしてもらえました。外では知らないおじさんなので声がかげづらいです。下校時、お互い大声で何か言いながら明るく帰ってきます。近所で子供の声がするとほっとします。</li> </ul>
			本年 2.6 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>くん、さんが子供たち同士では、呼び捨てになる場面を見かける。引き続き指導をしていきたい。</li> <li>高学年ではくんさんづけがあまり徹底されていないように感じる。諦めずに全職員で指導にあたりたい。</li> <li>継続した声掛けが必要である。</li> <li>会話では明るくやり取りできても、あいさつを自分からできない子供が見られる。高学年でもこちらから挨拶することが多い。全体でする「はい」の返事も周りの友達の様子を見ているなど感じる時がある。</li> </ul>	本年 B	
	12	教職員は、児童の実態を把握し、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめをなくしている。	昨年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導主任を中心に、生活アンケート等を活用し、情報共有や指導の徹底が図られている。</li> <li>生活アンケートやQU等児童の実態把握に努めている。</li> </ul>	昨年 B	
			本年 3.6 A		本年 B	
13	教職員は、道徳の時間を確保し、授業の工夫改善を進め、豊かな心を育てている。	昨年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の工夫改善が足りないと感じているので、教材研究の時間を確保して対応していく。</li> <li>特学では「ソーシャルスキル」の時間を毎週確保している。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>35時間（1年生34時間）は、今後更に達成度が求められるので、心に残る授業をお願いします。せっかく副読本が一人一冊なので・・・</li> <li>社会性はとても大事なのでしっかり指導してほしい。</li> <li>外部の人たちから話をしてもらおうと良い思う。</li> </ul>	
		本年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観日に全校で道徳の授業を行ったり、毎月の生活目標の指導を行ったりして全体の場でも、個別の場面でも豊かな心の育成に努めていると思う。</li> </ul>	本年 B		
14	児童は時間を守り、学習の約束を守り、規律ある生活をしている。	昨年 2.9 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>名札をつける。歯磨きタイム。給食のコップ。下駄箱のくつつそろえ。傘を持ち帰る。など細かいことですが言い続けている。</li> <li>おおむね達成されているが、10分休みの過ごし方に課題があるので指導している。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>約束や規律ある生活の達成を少し低くしてみてもどうか。</li> </ul>	
		本年 3.0 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>名札を付ける。歯磨き、ハンカチテッシュを準備する、清掃では白帽子をかぶるなど学校生活の決まりは徹底して指導したいものです。</li> </ul>	本年 B		

安全健康・体力の向上	15	教職員は、力の落ちている項目の運動を準備運動に取り入れたり、運動量の確保に努めたりし、体育授業の充実を図っている。	昨年 3.5 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修で取り組んできたことが、どの単元の学習にも生かされている。</li> <li>昨年度からの校内研修での取り組みが、徐々に職員に浸透してきている。体力が確実に上がってきている。</li> <li>学年で話し合い、授業準備や補助運動を工夫し取り組んでいる。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>屈伸、伸脚がしっかりできていれば何もいいません。</li> </ul>
			本年 3.5 A		本年 A	
16	教職員は、交通安全指導、不審者対応指導を徹底し、事故を未然に防いでいる。	昨年 3.3 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全主任を中心に、早期対応が図れている。</li> <li>下校の仕方（広がり、寄り道、トラブル等）については、対応が必要。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回しかありません。</li> <li>下校の仕方の指導は、もっと必要だと思います。</li> <li>地域・保護者との連携がもっと必要だと思います。</li> </ul>	
		本年 3.3 B		本年 A		

安全 健康 ・ 体力 の 向 上	17	教職員は、清掃指導、掃除の見届けをし、児童の心を磨かせている。	昨年 3.2 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむねしっかりと清掃に取り組んでいて、教師も見届けができています。無言清掃を徹底させたい。</li> <li>・夏休みに校内の整理整頓の時間を設けると良いと思う。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい評価ですが、清掃がしっかりできないと、中学が荒れます。</li> </ul>
			本年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食後に音楽が流れて児童がスムーズに清掃活動に取り組んでいると思う。6年生が1年生や風の子のお手伝いをしてくれるのもありがたいですし、また6年生にとっても最高学年としての自覚につながると思う。</li> <li>・掃除中の私語が気になる。(教職員がいない場所)</li> </ul>	本年 B	
18	保護者・学校は、規則正しい生活と児童の健康管理を支援し、バランスのよい心身の発達をめざしている。	昨年 3.3 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でどれだけ指導・支援しても、家庭に戻ってリセットされてしまう印象を受ける。学校での指導・支援を継続していく。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に関心を高める努力が必要か？</li> <li>・家庭に連携を求める声が必要かと思えます。</li> </ul>	
		本年 3.1 B		本年 B		
家庭 地 域 と の 連 携	19	学校は、学校公開、学校評議員会議や諸行事の公開、学校関係者評価の実施などを通して開かれた学校づくりに努めている。	昨年 3.7 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開日を増やすなどして努めた。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい教育がどうなるのか、平成30年度の1年間で少しずつ伝えてなければならないと思います。間違った情報があちこちに見受けられます。</li> </ul>
			本年 3.6 A		本年 A	
20	学校は、学校応援団などにより、地域の人材、ボランティアの協力のもと、連携して地域に根ざした教育活動を展開している。	昨年 3.7 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく連携がとれていると思う。</li> <li>・登下校見守りボランティア、放課後山王っ子、おはなしポケットなど協力してくださる方が多数いる。</li> <li>・理科(SSVC)や総合のゲストティーチャーで来ていただき、助かる。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力(外部)体制がいいですね。</li> <li>・一緒に給食を食べたり、遊んだりして地域の方を巻き込む行事があってもいいかと思えます。</li> </ul>	
		本年 3.3 B		本年 B		
21	学校は、幼保中との連携を積極的に進め、小1対応問題・中1ギャップの克服などに取り組んでいる。	昨年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、1年生の担任になってみて、幼保小の連携が多少理解できた。上がってくる情報にある程度の偏りがあるのを感じたが、参考にはなっている。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学との連携、特に6年生の児童に対して体験をもっとさせると良いと思います。</li> </ul>	
		本年 3.3 B		本年 B		
22	学校は、学校・学年だより、連絡帳、電話等をとおして保護者・地域と連絡を取り合い、ともに児童の教育を推進している。	昨年 3.7 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの先生方も、家庭との連絡を密にとっている。</li> <li>・上履きの貸し出しのサイズが少ないので、便りで寄付を募ると良いと思う。</li> <li>・連絡帳や電話で、詳細に児童の様子などを伝えることができています。また、地域の声も教育活動に反映できています。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長、教頭の出番なので「A」になっていると解釈しています。</li> <li>・連携方法を工夫して取り組んでいただけるとよいと思います。</li> <li>・どんどん学校発信してください。</li> </ul>	
		本年 3.6 A		本年 A		